

幼保連携型認定こども園 西神戸 YMCA 保育園 6月えんだより

6月聖句：「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。」

＜マタイによる福音書7章7節＞

地球温暖化の影響でしょうか、日本特有の四季を感じる事が難しい昨今です。これから梅雨のシーズン、どれだけ雨が降るかは分かりませんが、春から夏への季節の移り変わりを、目で見て、触って、聞いて、味わって、匂って、すべての五感を使って感じる事ができる時でもあります。4月から約2か月が経過し、子ども達が落ち着いて園での生活を過ごす時から、少しずつ、自分以外の外の世界に向けて興味や関心を持つ時になればと思います。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。」聖書では、山上の説教と言われる一節です。イエス様は、病、飢え、様々な苦しみや障害にあえぐ多くの貧しい人々を前にして、これらの言葉を告げられました。厳しい現実打ちのめされて生きる喜びを求めることもできず、明日への希望を見出すことに疲れた弱く小さな人達に対して、私たちには想像もできない愛を感じます。そして、聖書では、「あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも人にしなさい」という言葉で結ばれます。

こども園の子どもたちが、園生活を通して、また神さまに祈るなかで、1日1日を健やかに過ごして欲しいと願っています。

6月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	なにかな なにかな／なんだろう	かんじる／みつける
	・保育者の祈りやさんびかの中に身を置く ・周りの人に関心をもつようになる ・保育者の祈りや賛美を喜んで、真似をする ・まわりの人やものに関心をもち、遊びを広げていく ・自然に触れ合う中で不思議な事柄にであう	・季節の花、虫、雨や雲の動きなど身近な自然を通し、天地を創られた神さまを感じる ・友だちと一緒に過ごすことを嬉しく感じるとともに思い通しにならない経験もする ・聖書のお話の中に、神さまの私たちへの愛やまもりを感じる ・興味を持ったことからの探求を楽しみ、体験や知識を広げていく。また絵本やうた、保育者や友だちの話からことばの世界を深めていく
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌Ⅱ②⑩	きみがすぎだって こども改104